

新着任空士集合訓練

7月22日（火）から7月25日（金）の間、第1輸送航空隊に新たに着任した34名の空士隊員に対し集合訓練を実施し、第1輸送航空隊の任務及び一部の所在部隊（救難教育隊、管制隊、気象隊及び航空機動衛生隊）の任務を実地に体験させるとともに、同基地で勤務する同僚等との絆を深めさせることにより、今後の円滑な勤務環境の構築を図りました。

訓練内容は、任務の説明、部隊見学、K/C-130H航空機体験搭乗及び野外行動訓練です。初日は小牧基地の概要説明から始まり、整備補給群の各隊において任務・概要説明、格納庫、各作業場を実地に見学しました。2日目の午前中は基地業務群の一部の部隊、気象隊及び飛行群においてそれぞれの任務・概要説明及び業務体験等を実施し、午後からは第401飛行隊において体験搭乗前のブリーフィングを受けた後、K/C-130Hの体験搭乗を実施しました。3日目の午前中は前日に見学できなかった基地業務群の各隊における任務・概要説明、各種業務における手続き要領等の説明を受けました。午後は管制隊、航空機動衛生隊及び救難教育隊の見学を実施しました。最終4日目は、野外行動訓練です。かつてない程の猛暑の中、基地北東約10kmに位置する大縣神社をスタートし、明治村、羽黒駅を経由して約24kmを全員無事に完歩し帰隊しました。帰隊の際は、隊司令、副司令以下多くの隊員が出迎え、被訓練者の健闘を称賛しました。

本訓練を通じて、被訓練者は航空基地を維持運営することに多くの部隊、隊員が関わっていること、航空機の運用についても飛行、整備、輸送、飛行管理、消防などの様々な部隊が密接に関わっていることを実際に学ぶことができ、自己に与えられた職種の重要性を再認識した非常に有意義な訓練となりました。

最後に多くの隊員によるご支援・ご協力のおかげで本訓練を実施することができました。ありがとうございました。



防衛・基地モニター基地業務群研修



7月25日（金）防衛・基地モニターの小牧基地基地業務群研修を行いました。

本研修は、飛行運用を支える基盤である基地業務群の部隊研修を通じ、各職種及び各機能を紹介するとともに基地運営を理解して頂くために実施しました。

初めに、管理隊警備小隊において警備犬の訓練展示を見学した後、管理隊の行っている主に輸送に関する業務について説明を受けました。次に飛行場勤務隊において飛行管理業務の説明を受けた後、基地大型バスに乗車して、タクシーウェイ点検を見学してもらいました。その後、施設隊消防小隊において、空港消防業務についての説明を受けた後、10000立級救難消防車等の装備品を見学しました。昼食は、隊員食堂にて体験喫食をし、午後からはサイバー運用隊、衛生隊、会計隊及び業務隊にて業務内容の説明を受けました。

航空自衛隊と言えば航空機運用ばかりと、ほとんどの方が先入観を持たれていたようですが、基地運営及び隊員の生活基盤を支える基地業務群を研修したことにより、大変興味を示され、それぞれの研修先において熱心に質問をされており、関心の高さが伺えました。

今後もできる限り航空自衛隊の部隊及び隊員に触れて頂ける機会を作り、より航空自衛隊小牧基地のことを知って頂ける様に企画して参ります。

